

# 江見小学校・学習発表会

十一月二十一日(土)、江見小学校の「学習発表会」がありました。栗井小学校の時は全く趣が違いますが、どの児童もよく頑張っていました。栗井地区の江見小学校への協力の仕方も検討していきます。  
(写真上1年生、下3年生)



# 美作地域選抜 少女バレー 秋季合宿

## 能登香の湯運営委員会

十一月二十一日(土)～二十三日(日)、栗井小学校体育館と作東老人福祉センターで合宿を行いました。今回は美作地域の6年生女子の選抜チームで、美作市、西粟倉村、勝央町、奈義町からの選抜です。1日目は体育館で終日強化練習、能登香の湯で入浴、福祉センターで宿泊、2日目は大会へ参加。食事は、保護者が分担して作りました。寝具は西粟倉村から布団型のシムツフを借りて暖かく寝ました。少女15人、大人20人の総勢35人でした。調理室を改修すれば、福祉センターの新たな活用方法として今後利用が増えそうです。

# 美作市行政事務連絡協議会 自治振興協議会、合同会議

## 粟井地区区長協議会、粟井(地区)自治振興協議会

十一月二十七日、美作市民センターにて「第二回 美作市行政事務連絡協議会 美作市自治振興協議会 合同会議」がありました。内容は、前述の二つの会を一つに再編する事です。



来年3月の設立総会をめざしています。行政事務連絡協議会は区長会の公式名称です。案として名称は、「自治振興協議会」にして行政事務連絡協議会の機能を兼ねると言うことになりました。会長は区長が担います。区一地区一地域一市と名称が統一されます。区長が正式な役職名となります。区(214区)、地区自治振興協議会(32地区)、地域自治振興協議会(6地域)、美作市自治振興協議会と繋がります。市からの文書もこれからは「〇〇区長」というようになり、自治振興協議会も内部で、区長対象と今までの自治振興協議会(各部代表)対象とに内容により使い分ける必要が出てきます。

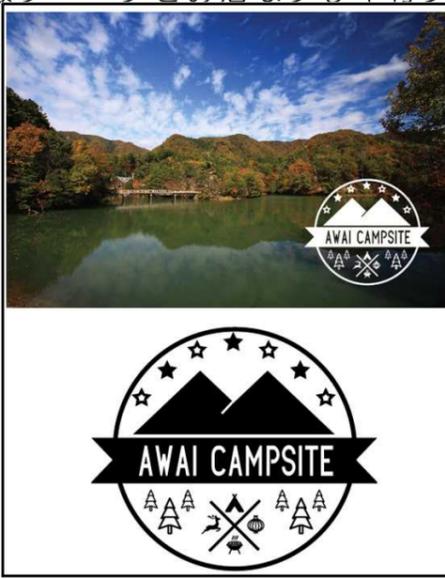
# 能登香の里・小屋

## 能登香の里小屋運営委員会

**指定管理の申請**  
今年度で期限が切れる指定管理について、新たに申請しました。今回の申請は、平成二十八年度から三年間です。

## 美作市まちひとしごと創生総合戦略粟井版に追加

能登香キャンプ場を中心に栗井村全域を通してのキャンプ、宿泊を楽しむサービス、コンテナ、イベントなどを提供し、宿泊客やキャンプ場の利用客を向上させることをコンセプトにする。



これに伴い、キャンプ場や山の設備などをすすめ、山の資源なども活用し、最終的に自然の学びの場としてのイメージ、ブランドینگを行い、子育て世代に広報をしていく。

### ■コンテンツ案

- 1) BBQインストラクター2名による、本場BBQ料理の提供、ワークショップ、本格的なキャンプ道具の貸し出しのサービスを提供する。美作BBQ協会の設立
- 2) 子供の参加を中心としたネイチャーゲームイベント開催及び、自然の整備、津山ネイチャーゲーム協会との連携。
- 3) 月に1回第一土曜日に、オープンキャンプイベント、キャンプ場無料開放し、様々なお店やネイチャーゲームに関するワークショップ、ブライブイベントなどを行う。
- 4) ジビエ肉や地元野菜、オリジナルソースなどでBBQ食材セットとして販売
- 5) コテージ、ログハウスの改修、インテリアメーカーと提携し、内装を整える。
- 6) 古本屋などと提携し文庫スペースを作り、自然の中で本を読む緩やかな時間を提供。ハンモックスペースやソファなどくつろげる空間を作る。
- 7) 薪ストーブなどを投入し、薪ストーブのある山村の冬の生活を体感してもらう。燃料を山の整備などから得た木々などでない、エコをアピール。少ない冬のメインコンテンツになり、冬場の利用を広報する。

【赤星賢太郎・土肥浩之】

\*校舎活用とあわせて、森分総合戦略監を中心に総合戦略室で起案中です。有友秘書室長にも積極的に協力して頂いています。これが校舎活用の最後のチャンスだと危機意識を持って取り組んでいます。

# ボランティア、研修会

## 栗井福祉ボランティアの会



十一月七日(月)武蔵の里交流館で「美作市ボランティア連絡協議会・交流会」があり、栗井福祉ボランティアの会からも2名が参加した。内容は、市内6団体による実践発表、レクリエーション、その後、みんなで懇親会を兼ね昼食をとり解散した。  
美作市内の33の登録グループから約80人が参加し交流を深めた。ボランティア同士のつながりを深めようと毎年開催されている。

# とんど祭り

と き:平成28年1月10日(日) 午前9時～(雨天中止)  
と ころ: 栗井小学校校庭  
主 催: 栗井地区村創りの会・教育部 [子供会・シャボン玉クラブ]  
共 催: 栗井福祉ボランティアの会  
準 備: 1月9日午後4時から 多数の方の参加をお待ちしています。

子供会だより  
■1月より、第2、第4月曜日のスポ少練習後、図書室の利用を始めます。3月までは試行で午後6時から午後7時までです。誰でも利用できます。4月からは、様子を見て新たな取り組みを始めます。  
子供会会長: 永谷義弘  
シャボン玉クラブ: 山本朱実

「編集後記」今年、印象に残っていること、それはラグビー日本代表だ。ハードなトレーニング、SG(全地球測位システム)やPar、ワットバイク、「ドローン」など最先端の機器による分析や練習データの解析など、日本代表ならではの練習の取り組みが成果を上げた。何よりもそこが、フォア・ザ・チームの選手の姿勢と、そこまでぶれることなく一貫した指導をしたエディー・ジョーンズヘッドコーチだ。  
私たちは、いつも「私」ではなく「私たちが」、を目標して常に仲間とともに合議制で物事に対処してきた。栗井のためには、「が判断基準だ。役職ある者は、自分の意思よりも自分達仲間全体の意思を優先してきた。しかし、いつも判断が正しかったかと言えは疑問符の付く事もある。  
ラグビー日本代表が、南アフリカに勝った最後の判断は、コーチの判断とは異なり、現場にいる選手の判断だった。ここでスクラムを選択した選手の決断と結果に日本が感動した。この時の事が頭から離れない。なぜそうできたのか?  
対照的だったのが、待ジャパンの準決勝、韓国戦の9回だ。なぜ続投させたのか? 個を極限まで高め、その個が同じ目的のために一つの集団になる。そんな夢をよく思い描く。来年がいい年になって欲しい。栗井にとって大事な一年だから。